

市政の最近のできごとを紹介します。



秋山孝ポスター美術館、観光拠点に

市内出身のグラフィックデザイナー・秋山孝さんの作品を展示した美術館が再オープンしました。昨年、市が寄贈を受け、摂田屋・宮内地区の新たな観光拠点としてリニューアル。発酵・醸造のまちの魅力を発信します。(7月8日)



摂田屋の名所に庭園よみがえる

大正末期に造園された旧機那サフラン酒製造本舗の庭園の修復が進んでいます。長岡工業高等専門学校と長岡技術科学大学の技術を活かしてよみがえった池には錦鯉を放流。土・日・祝日に市民団体の案内で見学できます。(7月8日)



海を越え続く、スポーツ交流

戦前からの歴史がある、寺泊地域と佐渡市赤泊地区の友好を深める両泊親善体育大会を4年ぶりに開催。寺泊に集結した総勢110人は、バスケットボールなど4種目で熱戦を繰り広げ、久しぶりの再会を喜び合いました。(7月8日)



あゆみを未来へ 歴史文書館開館

郷土の歴史を伝える資料約22万点を保存し、調査・研究に活用する歴史文書館が長倉西町に開館しました。初日には地名「長岡」の由来をひも解く記念講演会を開催。訪れた約60人が熱心に聞き入っていました。(7月1日)

今こそ始めて 鳥獣緩衝帯の整備を支援

鳥獣被害対策課 ☎39・2348

市は、地域で取り組む鳥獣被害対策を支えるため、人と野生動物の生活圏を隔てる緩衝帯の整備・維持費用を補助しています。夏は草木が生い茂り、野生動物の移動経路や潜み場が増えやすい時期。今こそ、整備に取り組みましょう。
対象事業＝①緩衝帯の整備②①の維持 上限額＝①15万円②3万円 申し込み＝①来年1月31日(水)②11月30日(木)まで



猿橋集落が整備した鳥獣緩衝帯

昨年7月、集落内に緩衝帯をつくりました。見通しが良くなり、安心して生活や農業ができています。今年はイノシシが稲を倒さないよう、お盆過ぎに刈り払いたいです。集落総出の作業で連帯感も強まるので、毎年続けていきたいですね。

▶小国地域・猿橋集落の総代 佐々木稔さん



豪・飛び込みチーム、 阪之上小学校児童との交流で絆



オーストラリアとオランダの飛び込みチームが、世界水泳選手権福岡大会の事前合宿のため長岡を訪れました。

長岡での合宿は4年ぶり。市が東京五輪でオーストラリア競泳チームのホストタウンになったことがきっかけです。

選手やコーチ23人は7月4日から6日間、ダイエープロビスフェニックスプール(写真1)を拠点に練習。豪選手が阪之上小学校5年生と交流(写真2、3)したほか、長岡ダイビングクラブの子どもたちが選手を激励。陸上トレーニング体験などを通して、世界レベルの選手や競技の魅力を間近に感じる貴重な機会になりました。

チームからは、市民の温かい歓迎とサポートに対し感謝の意が伝えられました。

市は今後も、海外チームの受け入れや交流を行い、長岡のスポーツ振興や魅力発信などにつなげます。

関スポーツ振興課 ☎32・6117

9月から新しいワクチンの 接種を開始

関保健医療課感染症対策室 ☎39・2383

新型コロナウイルス感染症の発症や重症化の予防効果が期待される新しいワクチンです。

対象＝初回接種(1・2回目、乳幼児ワクチンは1～3回目)を終了した5歳以上 使用ワクチン＝オミクロン株XBB系統に対応

Q 接種券は届くの？

A 未使用の接種券を持っている人は、手元にある接種券で接種を受けてください。5月8日から8月31日までの春開始接種をした人や昨秋以降のオミクロン株ワクチンを接種した人には、8月下旬以降、接種券を順次発送します。

接種券を紛失した人や転入した人は発行を申請してください。

★接種の方法など詳細が決まり次第、市政だよりや市ホームページなどでお知らせします



市新型コロナ
ワクチン接種
コールセンター
☎0120・622・007

(毎日午前10時～午後7時)



市ホーム
ページ

8月18日(金)から
接種券の申請を
受け付けます。

新型コロナワクチン

※7月18日(火)時点の情報です

ワクチン接種も有効な対策 感染対策に配慮を

夏休み中の移動の増加や冷房の使用による換気機会の減少により、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されます。せっけんで30秒以上の手洗いやこまめな換気、場面に合ったマスクの着脱などをお願いします。熱があるなど、いつもと体調が異なるときは外出を控えましょう。

- 感染が疑われる症状がある
- かかりつけ医を持たない
- 自宅療養中に、体調が悪化した

相談窓口

県新型コロナ
健康相談センター

☎025・256・8275 (毎日24時間対応)